



Cisco Unity Connection 7.x サーバの交換

この章は、次の項で構成されています。

- [Connection クラスタが設定されていない単一の 7.x サーバの交換 \(P.4-2\)](#)
- [Connection クラスタ内の 7.x パブリッシャ サーバの交換 \(P.4-3\)](#)
- [Connection クラスタ内の 7.x サブスライバサーバの交換 \(P.4-6\)](#)
- [Connection クラスタ内の 7.x パブリッシャ サーバおよびサブスライバサーバの交換 \(P.4-9\)](#)

Connection クラスタが設定されていない単一の 7.x サーバの交換

単一の Connection 7.x サーバを正しく交換するには、この項に示されている大まかなタスク リストに従います。



(注)

デジタル ネットワーキングが設定されている場合も同じタスクを実行してください。代替サーバでデータを復元すると、デジタル ネットワーキングは自動的に動作を再開します。

1. Disaster Recovery System を使用して Connection サーバをバックアップします。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/drs_administration/guide/7xcucdrsag.html にある『*Disaster Recovery System アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection Release 7.x*』を参照してください。
2. 新しいサーバを設置します。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/installation/guide/7xcucigx.html にある『*Cisco Unity Connection インストールガイド Release 7.x*』の「Cisco Unity Connection 7.x システムのインストールに必要なタスクの概要」の章で、「Cisco Unity Connection 7.x システム (Connection クラスタなし) インストール用タスク リスト」の「パート 1: Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定」を参照してください。
3. Disaster Recovery System を使用して、新しい Connection サーバでデータを復元します。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/drs_administration/guide/7xcucdrsag.html にある『*Disaster Recovery System アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection Release 7.x*』を参照してください。
4. 古いサーバをネットワークから切断します。

Connection クラスタ内の 7.x パブリッシャ サーバの交換

Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバを交換する場合、サブスライバサーバを交換する必要はありません。パブリッシャ サーバが動作していない間は、サブスライバサーバがすべての機能を処理します。Connection クラスタを設定して、サブスライバサーバを Connection クラスタに再接続すると、サブスライバは自身のデータを代替パブリッシャ サーバに複製します。代替パブリッシャ サーバは、Primary または Secondary ステータスになると通話の処理を開始します。

この項にある 6 つの手順を順番に実行します。



注意

デジタル ネットワーキングを使用している場合は、無効にしてからこの項の手順を実行する必要があります。無効にする手順については、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html にある『Cisco Unity Connection システムアドミニストレーションガイド Release 7.x』の「デジタル ネットワークの使用方法」の章を参照してください。

サブスライバサーバを Primary ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログオンします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで、[Cluster Management] をクリックします。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] で、サブスライバサーバを見つけます。
- ステップ 4** サブスライバサーバが Primary ステータスになっている場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。

サブスライバサーバが Secondary ステータスになっている場合は、[ステップ 5](#)に進みます。

サブスライバが Deactivated ステータスになっている場合は、次の手順に従って、ステータスを Secondary に変更します。

- a. サブスライバサーバの [Change Server Status] カラムにある [Activate] をクリックします。
- b. サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- c. [Server Status] カラムで、サブスライバサーバが Secondary ステータスになったことを確認します。

- ステップ 5** サブスライバサーバの [Change Server Status] カラムにある [Make Primary] をクリックします。

- ステップ 6** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のステータスが表示されます。



(注) パブリッシャ サーバは Secondary ステータスに自動的に変更されます。

パブリッシャ サーバを Secondary ステータスから Deactivated ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログオンします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで、[Port Monitor] をクリックします。右ペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドで、パブリッシャ サーバをクリックします。
- ステップ 4** 右ペインで、[Start Polling] をクリックします。
- ステップ 5** サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがあるかどうかを確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** パブリッシャ サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがない場合は、[ステップ 8](#)に進みます。
- パブリッシャ サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] で、パブリッシャ サーバの [Stop Taking Calls] をクリックします。RTMT にパブリッシャ サーバのすべてのポートがアイドル状態として示されるまで、待機します。
- ステップ 8** [Server Manager] で、パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムにある [Deactivate] をクリックします。
- ステップ 9** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のサーバステータスが表示されます。
-

パブリッシャ サーバを環境から削除する

- ステップ 1** パブリッシャ サーバをシャットダウンします。
- [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムに、パブリッシャ サーバが Not Functioning ステータスになったことが示されます。
- ステップ 2** パブリッシャ サーバからネットワーク ケーブルを取り外します。
- これで、パブリッシャ サーバを環境から削除できる状態になりました。
-

代替パブリッシャ サーバを設置する

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/installation/guide/7xcucigx.html にある『Cisco Unity Connection インストールガイド Release 7.x』の「Cisco Unity Connection 7.x システムのインストールに必要なタスクの概要」の章で、「Cisco Unity Connection 7.x システム (Connection クラスタなし) インストール用タスク リスト」の「パート 1 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定」の手順に従います。



注意 両方の Connection サーバには、同じバージョンのソフトウェアおよび ES をインストールする必要があります。これを行わないと、Connection クラスタが正しく動作しない場合があります。

代替パブリッシャ サーバでクラスタを設定する

- ステップ 1** パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection の管理にログオンします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[クラスタ (Cluster)] をクリックします。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 4** 「サーバの設定の新規作成」ページの [ホスト名 /IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、サブスクライバサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 5** [説明 (Description)] フィールドに、**Server 2** など、サーバに関する説明を入力します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** Cisco Unity Connection の管理からログオフします。

サブスクライバサーバを Connection クラスタに再接続する

- ステップ 1** サブスクライバサーバを Connection クラスタに再接続するには、サブスクライバサーバで次の CLI コマンドを実行します。

```
utils cuc cluster renegotiate
```



(注) CLI コマンドが完了すると、パブリッシャ サーバが自動的に再起動します。

- ステップ 2** サブスクライバサーバで次の CLI コマンドを実行して、Connection クラスタが設定されていることを確認します。

```
show cuc cluster status
```

Connection クラスタ内の 7.x サブスクリバサーバの交換

Connection クラスタ内のサブスクリバサーバを交換する場合、パブリッシャサーバを交換する必要はありません。サブスクリバサーバが動作していない間は、パブリッシャサーバがすべての機能を処理します。Connection クラスタを設定すると、パブリッシャサーバは自身のデータを代替サブスクリバサーバに複製します。代替サブスクリバサーバは、Primary または Secondary ステータスになると通話の処理を開始します。

この項にある 6 つの手順を順番に実行します。



注意

デジタル ネットワーキングを使用している場合は、無効にしてからこの項の手順を実行する必要があります。無効にする手順については、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html にある『Cisco Unity Connection システムアドミニストレーションガイド Release 7.x』の「デジタル ネットワークの使用方法」の章を参照してください。

パブリッシャサーバを Primary ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログオンします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで、[Cluster Management] をクリックします。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] で、パブリッシャサーバを見つけます。
- ステップ 4** パブリッシャサーバが Primary ステータスになっている場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。

パブリッシャサーバが Secondary ステータスになっている場合は、[ステップ 5](#)に進みます。

パブリッシャが Deactivated ステータスになっている場合は、次の手順に従って、ステータスを Secondary に変更します。

- a. パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムにある [Activate] をクリックします。
- b. サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- c. [Server Status] カラムで、パブリッシャサーバが Secondary ステータスになったことを確認します。

ステップ 5 パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムにある [Make Primary] をクリックします。

ステップ 6 サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のステータスが表示されます。



(注) サブスクリバサーバは Secondary ステータスに自動的に変更されます。

サブスクリバサーバを Secondary ステータスから Deactivated ステータスに手動で変更する

-
- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログオンします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで、[Port Monitor] をクリックします。右ペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドで、サブスクリバサーバをクリックします。
- ステップ 4** 右ペインで、[Start Polling] をクリックします。
- ステップ 5** サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがあるかどうかを確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがない場合は、[ステップ 8](#)に進みます。
- サブスクリバサーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] で、サブスクリバサーバの [Stop Taking Calls] をクリックします。RTMT にサーバのすべてのポートがアイドル状態として示されるまで、待機します。
- ステップ 8** [Server Manager] で、サブスクリバサーバの [Change Server Status] カラムにある [Deactivate] をクリックします。
- ステップ 9** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のサーバステータスが表示されます。
-

サブスクリバサーバを環境から削除する

-
- ステップ 1** サブスクリバサーバをシャットダウンします。
- [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムに、サブスクリバサーバが Not Functioning ステータスになったことが示されます。
- ステップ 2** サブスクリバサーバからネットワーク ケーブルを取り外します。
- これで、サブスクリバサーバを環境から削除できる状態になりました。
-

サブスクリバサーバを削除し、代替サブスクリバサーバを Connection クラスタに追加する

-
- ステップ 1** 代替サブスクリバサーバに、削除するサブスクリバサーバと同じホスト名または IP アドレスを設定する場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。
- 代替サブスクリバサーバに別のホスト名または IP アドレスを設定する場合は、パブリッシュサーバで Cisco Unity Connection の管理にログオンします。

- ステップ 2** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[クラスタ (Cluster)] をクリックします。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで、[検索 (Find)] をクリックして、クラスタ内のサーバをすべて表示します。
- ステップ 4** サブスクリバサーバの先頭にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 5** サーバを削除することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- ステップ 6** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 7** 「サーバの設定の新規作成」ページの [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、代替サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** [説明 (Description)] フィールドに、**Server 2** など、サーバに関する説明を入力します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 10** Cisco Unity Connection の管理からログオフします。

代替サブスクリバサーバを設置する

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/installation/guide/7xcucigx.html にある『Cisco Unity Connection インストレーションガイド Release 7.x』の「Cisco Unity Connection 7.x システムのインストールに必要なタスクの概要」の章で、「Connection クラスタ設定済み Cisco Unity Connection 7.x システム インストール用タスク リスト」の「パート 3 : クラスタの設定、および Connection サブスクリバサーバのインストールと設定」の手順に従います。



注意 両方の Connection サーバには、同じバージョンのソフトウェアおよび ES をインストールする必要があります。これを行わないと、Connection クラスタが正しく動作しない場合があります。

Connection クラスタが設定されていることを確認する

サブスクリバサーバで次の CLI コマンドを実行して、Connection クラスタが設定されていることを確認します。

```
show cuc cluster status
```

Connection クラスタ内の 7.x パブリッシャ サーバおよびサブスクリバサーバの交換

Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバとサブスクリバサーバの両方を交換するには、次のプロセスを段階的に実行します。サブスクリバサーバの交換中は、パブリッシャサーバがすべての機能を処理し、自身のデータを代替サブスクリバサーバに複製します。パブリッシャサーバの交換中は、サブスクリバサーバがすべての機能を処理し、自身のデータとメッセージを代替パブリッシャサーバに複製します。

この項にある 12 の手順を順番に実行します。



注意

デジタル ネットワーキングを使用している場合は、無効にしてからこの項の手順を実行する必要があります。無効にする手順については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html にある『Cisco Unity Connection システムアドミニストレーションガイド Release 7.x』の「デジタルネットワークの使用法」の章を参照してください。

パブリッシャサーバを Primary ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログオンします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで、[Cluster Management] をクリックします。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] で、パブリッシャサーバを見つけます。
- ステップ 4** パブリッシャサーバが Primary ステータスになっている場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。

パブリッシャサーバが Secondary ステータスになっている場合は、[ステップ 5](#)に進みます。

パブリッシャが Deactivated ステータスになっている場合は、次の手順に従って、ステータスを Secondary に変更します。

- a. パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムにある [Activate] をクリックします。
 - b. サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
 - c. [Server Status] カラムで、パブリッシャサーバが Secondary ステータスになったことを確認します。
- ステップ 5** パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムにある [Make Primary] をクリックします。
 - ステップ 6** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のステータスが表示されます。



(注) サブスクリバサーバは Secondary ステータスに自動的に変更されます。

サブスクリバサーバを Secondary ステータスから Deactivated ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログオンします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで、[Port Monitor] をクリックします。右ペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドで、サブスクリバサーバをクリックします。
- ステップ 4** 右ペインで、[Start Polling] をクリックします。
- ステップ 5** サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがあるかどうかを確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがない場合は、[ステップ 8](#)に進みます。
- サブスクリバサーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] で、サブスクリバサーバの [Stop Taking Calls] をクリックします。RTMT にサーバのすべてのポートがアイドル状態として示されるまで、待機します。
- ステップ 8** [Server Manager] で、サブスクリバサーバの [Change Server Status] カラムにある [Deactivate] をクリックします。
- ステップ 9** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のサーバステータスが表示されます。

サブスクリバサーバを環境から削除する

- ステップ 1** サブスクリバサーバをシャットダウンします。
- [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムに、サブスクリバサーバが Not Functioning ステータスになったことが示されます。
- ステップ 2** サブスクリバサーバからネットワーク ケーブルを取り外します。
- これで、サブスクリバサーバを環境から削除できる状態になりました。
-

サブスクリバサーバを削除し、代替サブスクリバサーバを Connection クラスタに追加する

- ステップ 1** 代替サブスクリバサーバに、削除するサブスクリバサーバと同じホスト名または IP アドレスを設定する場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。
- 代替サブスクリバサーバに別のホスト名または IP アドレスを設定する場合は、パブリッシャサーバで Cisco Unity Connection の管理にログオンします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[クラスタ (Cluster)] をクリックします。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで、[検索 (Find)] をクリックして、クラスタ内のサーバをすべて表示します。
- ステップ 4** サブスクリバサーバの先頭にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 5** サーバを削除することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- ステップ 6** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 7** 「サーバの設定の新規作成」ページの [ホスト名 /IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、代替サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** [説明 (Description)] フィールドに、**Server 2** など、サーバに関する説明を入力します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 10** Cisco Unity Connection の管理からログオフします。

代替サブスクリバサーバを設置する

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/installation/guide/7xcucigx.html にある『Cisco Unity Connection インストレーションガイド Release 7.x』の「Cisco Unity Connection 7.x システムのインストールに必要なタスクの概要」の章で、「Connection クラスタ設定済み Cisco Unity Connection 7.x システム インストール用タスク リスト」の「パート 3 : クラスタの設定、および Connection サブスクリバサーバのインストールと設定」の手順に従います。



注意

両方の Connection サーバには、同じバージョンのソフトウェアおよび ES をインストールする必要があります。これを行わないと、Connection クラスタが正しく動作しない場合があります。

代替サブスクリバサーバで Connection クラスタが設定されていることを確認する

サブスクリバサーバで次の CLI コマンドを実行して、Connection クラスタが設定されていることを確認します。

```
show cuc cluster status
```

サブスクリバサーバを Primary ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログオンします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで、[Cluster Management] をクリックします。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] で、サブスクリバサーバを見つけます。
- ステップ 4** サブスクリバサーバが Primary ステータスになっている場合は、この手順を中断し、次の手順に進みます。サブスクリバサーバが Secondary ステータスになっている場合は、サブスクリバサーバの [Change Server Status] カラムにある [Make Primary] をクリックします。
- ステップ 5** サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のステータスが表示されます。



(注) パブリッシャサーバは Secondary ステータスに自動的に変更されます。

パブリッシャサーバを Secondary ステータスから Deactivated ステータスに手動で変更する

- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログオンします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで、[Port Monitor] をクリックします。右ペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドで、パブリッシャサーバをクリックします。
- ステップ 4** 右ペインで、[Start Polling] をクリックします。
- ステップ 5** サーバで現在通話を処理しているボイスメッセージポートがあるかどうかを確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** パブリッシャサーバで現在通話を処理しているボイスメッセージポートがない場合は、[ステップ 8](#)に進みます。

パブリッシャ サーバで現在通話を処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] で、パブリッシャ サーバの [Stop Taking Calls] をクリックします。RTMT にパブリッシャ サーバのすべてのポートがアイドル状態として示されるまで、待機します。

ステップ 8 [Server Manager] で、パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムにある [Deactivate] をクリックします。

ステップ 9 サーバステータスを変更することを確認するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更後のサーバステータスが表示されます。

パブリッシャ サーバを環境から削除する

ステップ 1 パブリッシャ サーバをシャットダウンします。

[Cluster Management] ページの [Server Status] カラムに、パブリッシャ サーバが Not Functioning ステータスになったことが示されます。

ステップ 2 パブリッシャ サーバからネットワーク ケーブルを取り外します。

これで、パブリッシャ サーバを環境から削除できる状態になりました。

代替パブリッシャ サーバを設置する

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/installation/guide/7xcucigx.html にある『Cisco Unity Connection インストレーションガイド Release 7.x』の「Cisco Unity Connection 7.x システムのインストールに必要なタスクの概要」の章で、「Cisco Unity Connection 7.x システム (Connection クラスタなし) インストール用タスク リスト」の「パート 1 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定」の手順に従います。



注意

両方の Connection サーバには、同じバージョンのソフトウェアおよび ES をインストールする必要があります。これを行わないと、Connection クラスタが正しく動作しない場合があります。

代替パブリッシャ サーバでクラスタを設定する

- ステップ 1** パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection の管理にログオンします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[クラスタ (Cluster)] をクリックします。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 4** 「サーバの設定の新規作成」ページの [ホスト名 /IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、サブスクリバサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 5** [説明 (Description)] フィールドに、**Server 2** など、サーバに関する説明を入力します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** Cisco Unity Connection の管理からログオフします。
-

サブスクリバサーバを Connection クラスタに再接続する

- ステップ 1** サブスクリバサーバを Connection クラスタに再接続するには、サブスクリバサーバで次の CLI コマンドを実行します。

```
utils cuc cluster renegotiate
```



(注) CLI コマンドが完了すると、パブリッシャ サーバが自動的に再起動します。

- ステップ 2** サブスクリバサーバで次の CLI コマンドを実行して、Connection クラスタが設定されていることを確認します。

```
show cuc cluster status
```
